

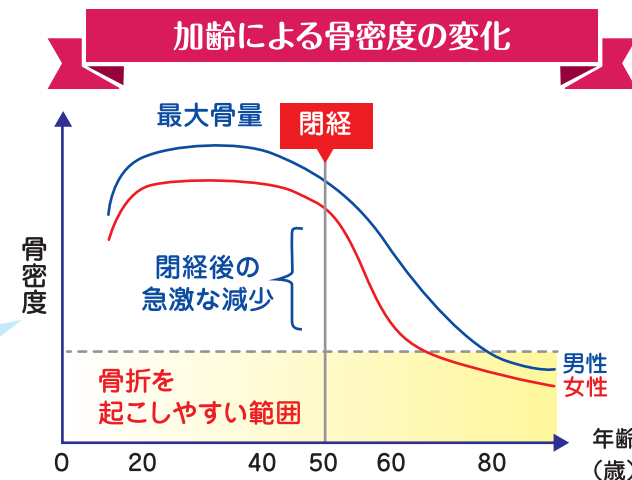
日野病院における多職種で取り組む二次骨折予防について

2023年6月より、日野病院では二次骨折予防を目指した多職種による骨粗鬆症リエゾンチームを結成し、地域で骨粗鬆症治療を必要とされる患者さんに対して効率的に関与する仕組み作りを開始しました。

■骨粗鬆症と二次骨折について

骨粗鬆症とは加齢や糖尿病、呼吸器疾患、関節リウマチ等の疾患に伴い、骨が徐々に脆くなっていく病態です。骨粗鬆症になるとちょっとした衝撃で骨折してしまう危険性があり、骨粗鬆症と診断されたら、早めの治療が大切です。

- ・骨量は20歳代に最も高くなり、その後ゆっくり低下します。
- ・閉経期になると女性は急速に骨量が減少します。
- ・以降はゆるやかになるものの骨量減少がとまることはありません。



Q.二次骨折とは

骨粗鬆症による骨折を「脆弱性骨折」と言い、骨粗鬆症を治療しないと、繰り返し骨折します。これを「二次骨折」と言います。



骨粗鬆症の患者さんは、骨折が大きな健康問題に繋がります。特に背骨・足の付け根の骨折は、日常の活動や生活の質が低下し、寝たきりになる危険性が高まり、健康寿命が短くなるおそれがあります。

■骨粗鬆症予防の連携について

骨粗鬆症の予防と治療、及び骨折防止への取り組みには、一病院だけで完結することは難しく、地域の医療機関との連携が重要なポイントになります。

日野病院は、急性期病院から患者さんを引き継ぎ、骨粗鬆症の予防・治療・二次骨折予防の役割を担います。

また退院後も、日野病院外来部門やかかりつけ医と相互連携を図ることで、骨粗鬆症治療を継続する循環型リエゾンサービスを心掛けています。

POINT① 地域医療機関との連携

POINT② 治療の開始と治療の継続が重要



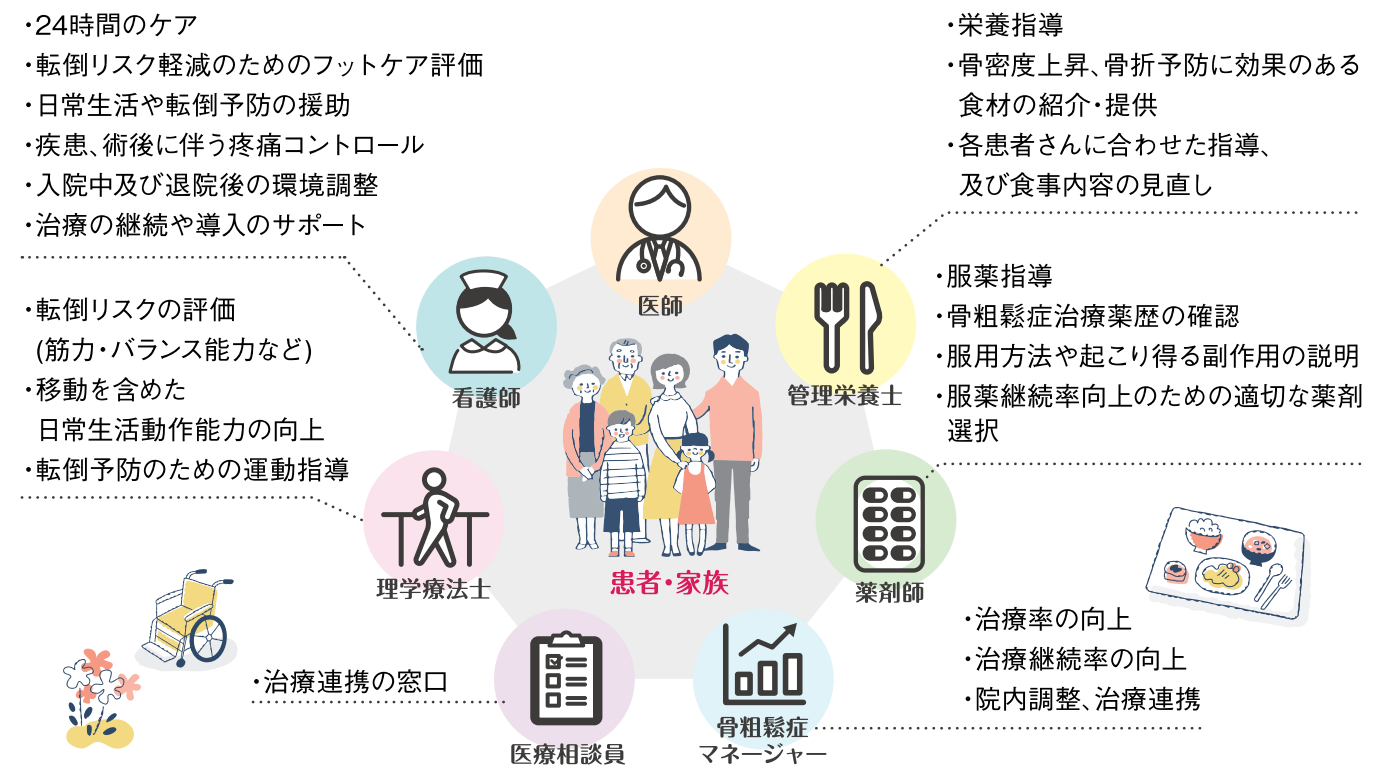
■骨粗鬆症リエゾンサービスとは

POINT① 骨粗鬆症リエゾンサービスとは、‘骨折を生じさせない一次骨折予防’ ‘骨折してしまった患者さんのさらなる骨折を予防する二次骨折予防’ が目的です。

POINT② 骨粗鬆症の治療率や治療継続率を向上することで、骨粗鬆症患者の再骨折率の改善、さらには健康寿命の延長を目指します。

⇒日野病院では、2023年6月に『骨粗鬆症リエゾンチーム』を結成（※ひだまり表紙の写真を参照）

■骨粗鬆症リエゾンチームのメンバーと役割



骨粗鬆症の治療には、‘栄養だけ’ ‘運動療法だけ’ ‘お薬だけ’ など、個別の観点での治療だけでは不十分です。各職域が連携し、‘薬と食事と運動の組み合わせ’ ‘日常的なリスクの排除’ ‘治療継続の必要性への説明と理解’ など、様々な視点からの介入が重要になります。

今後の課題と展望

●骨粗鬆症は自覚症状がうすいため、患者さん自身で治療を中断されてしまうことがしばしばあります。日野病院骨粗鬆症リエゾンチームは、治療の必要性をしっかりと伝え、安心して治療を継続していただけるようにしっかりとサポートします。

●日野病院では、今回の骨粗鬆症リエゾンチームの立ち上げにより、二次骨折予防に積極的に取り組んでいます。健康寿命の延長を考えると、骨折させない一次骨折予防、そして骨折のきっかけとなる転倒予防に対しても取り組む必要があります。

今後は、整形外科のみならず全ての科に外来受診された患者さんに対し、骨密度測定等を勧めることにより、骨粗鬆症の早期発見にも取り組んでいく予定です。



ご利用者が経営されていた手芸用品店の品々を寄贈いただきました

手芸用品店を営んでおられたご利用者の看取りをソルヴィラージュで行い、その後ご家族より手芸用品店の品々を寄贈いただきました。現在ソルヴィラージュのレクリエーションで使用させていただいています。



▲寄贈いただいた手芸用品の品々

手芸用品店で取り扱っていた品々は、どれも品質が良く厳選された品々。現在もレクで使用する際には、ご利用者に大好評です。

ソルヴィラージュご入所前には、ソルヴィラージュデイケアの手芸クラブ講師としてご活躍されていました。急性期病院退院後、ご自宅からも近いこともあり、日野病院・ソルヴィラージュを選択いただきました。

今回、そのようなご縁から素敵な品々を寄贈いただきました。

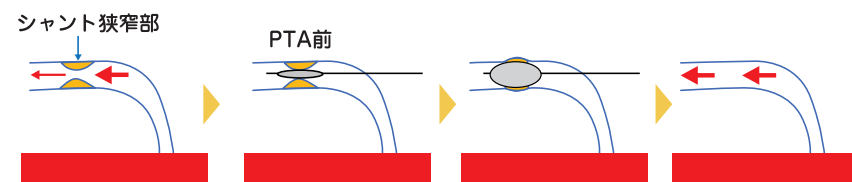
9月30日(土) この度寄贈いただいた手芸用品を使って手芸レクを実施しました。



日野クリニック PTA(経皮的血管形成術)の再開について

【PTAとは】

PTAとは、先端に風船(バルーン)のついたカテーテルをシャント内の狭くなった部分(狭窄部)に進め、そこでバルーンを膨らませることによって狭窄部を拡張するカテーテル治療です。



手術時間…30分～1時間程度
※局所麻酔で手術を行います。

【なぜPTAが必要】

シャント血管には透析治療の度に大量の血液が行き交うため、血管壁に負担がかかりやすく、徐々に血管の変形や血管壁の肥厚が生じます。また、針を刺した部分が修復時に厚くなり、血管が狭くなることもあります。このように、普通に生活をしていてもシャントの狭窄が起きてしまう場合があります。狭窄を放置しているとシャントが完全に閉塞し、透析が行えなくなります。

【PTAのメリット】

入院不要で手術時間が短い、全身麻酔や大きな皮膚切開が不要等、患者さんの負担が少ないことがメリットです。

- ◎シャントの再作成や、血栓の除去手術は、体への負担が大きいため、早期にシャントの狭窄を発見し、完全に閉塞する前にPTAを行い、シャントを長持ちさせることが重要です。
- ◎患者さん自身も毎日シャント部分の観察や聴診器でシャント音を確認し、少しでも違和感があれば透析スタッフや主治医に相談しましょう。

◎詳しくは日野クリニックまでご相談ください TEL 072-276-5111

ソルメゾンにご入居されていたご利用者のご家族から、心温まるお手紙をいただきましたので、ご紹介します。

生前父が大変お世話になりありがとうございました。

父はとても優しい一面ももってはいるのですが頑固で自分の思った事は曲げないやりにくい人だったと思います。皆様にご迷惑をおかけしているのではないかといつも心配しておりました。でもソルメゾンのスタッフの皆様は本当に親切でいつも父に優しく寄り添って下さっていました。本当に感謝しかありません。

引きあげてきた荷物の中にイベントの際に撮られた父の楽しそうな姿の写真が何枚もありました。ゲームに参加させてもらっている写真や、家では料理等した事がなかった父が三角巾を頭に巻き野菜を切ったりしている写真等を見て色々な経験をさせてもらったのだなとうれしく思いました。

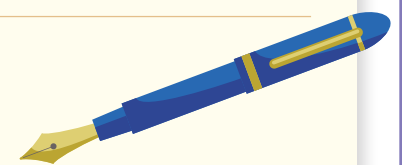
たくさんの施設の中でソルメゾンを選ばせてもらった理由の一つに陶芸や絵や書道等クラブ活動があり、入所してからも自分の部屋で一人で過ごすだけではなく、他の人との関わりをもちながら趣味を楽しむ事ができるといった事がありました。

父も最後まで施設の中で色々な作品を作らせてもらいました。施設での生活を楽しくしてくれたと思います。

亡くなる日もスタッフの皆様痛い痛いと言っていました。父が痛いと言う事のできる、甘えさせてもらえる場所だと父も感じていたのだと思います。私に対しても本当に良くして頂き心支えてもらいました。

本来ならお一人お一人にお礼を申し上げるべきところですが、この紙面で失礼致します事をお許し下さい。

これからも更に皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げますと共に今迄のご厚情に心よりお礼を申し上げます。



知って安心。医療・介護インフォメーション

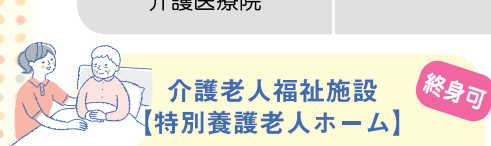
シリーズ
第8弾

高齢者施設って、いったいどう選べばよいの？

ご高齢の方がご自宅での生活がいよいよ困難となった場合、「施設」への入所を考えなければなりません。そしてその選択に迷われるケースは多々あります。今号からは主な高齢者施設とその違いについて、数回にわたりご紹介していきます。

■介護保険施設(公的施設)とは

施設	主な設置主体	入所基準	認知症受入	主な特徴
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	社会福祉法人・地方自治体	要介護3～	○	・ 65歳以上 ・ 入所時の一時金が不要 ・ 月額利用料のみ ・ 介護保険適用 ・ 運営母体が安定している ・ 医療スタッフが配置されており、医療体制が整っている(病院が併設していることも多い)
介護老人保健施設	医療法人・地方自治体	要介護1～		
介護医療院				



介護老人福祉施設
【特別養護老人ホーム】

終身可

生活介護が中心

常に介護が必要で、自宅では介護が困難な方が対象の施設。食事・入浴など日常生活の介護や健康管理が受けられます。当会では、「ソルメゾン」が該当します。



介護老人保健施設

介護や看護・リハビリテーション中心

病状が安定し、リハビリテーションに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設。医学的管理のもとで介護や看護、リハビリテーションを受けられます。当会では、「ソルヴィラージュ」が該当します。



介護医療院

終身可

長期の療養ができる

主に長期にわたり療養が必要な方が対象。医師・看護師が常駐しており、医療と介護が一体的に受けられます。

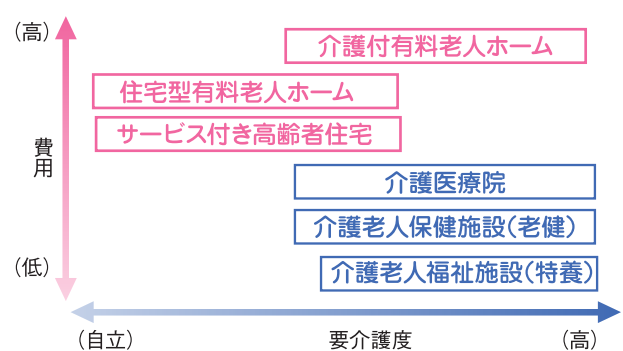
公的施設で安心。介護保険も適用され比較的安く利用できる

■その他の民間施設・住宅とは

施設	主な設置主体	入所基準	認知症受入	主な特徴	
介護付有料老人ホーム	民間企業	要支援1～	○	・65歳以上 ・介護保険適用 月額利用料のみ	・入所時の一時金が必要 ・営利目的のため、設備やサービスに幅広い工夫がなされている
住宅型有料老人ホーム		自立～		・60歳以上 ・基本、賃貸住宅のイメージ ・介護サービスを受けるには別途費用が必要	・外出などの生活自由度が高い ・施設数が多く、選択の幅が広く、すぐに入所しやすい
サービス付き高齢者住宅					

比較的自由度が高く、生活を楽しまたい方に向いている

■各施設・住宅の特徴イメージ図



「第二の自宅」となる施設は、本人の介護状態や、費用面などに合わせて慎重に選択する必要があります。役所の窓口やケアマネジャーと相談するのもよいでしょう。「おひさまケアプランセンター」では、ご自宅等で生活を送る要介護・要支援状態にある方が、適切にサービスを利用できるよう、様々な相談を受けたり、手続きの代行を行います。介護に関する相談や代行申請は無料です。



理事長コラム

お刺身をどうぞ

理事長 日野 頌三



福島第一原発の処理水、いわゆるALPS処理水の海洋放出についての報道が連日メディアを賑わせています。日本は科学的根拠に基づき、またIAEAによる安全性の確認も得て先日より処理水の放出を開始しました。その後の国内外の反応は

皆さんが見聞きされる通りです。

物事のメリットデメリット、あるいはリスクを科学的根拠から評価することは大事です。そうしなければ結果として社会全体が不利益を被ることになるからです。しかし人間の感情は科学的データだけで左右されるものではありません。よく「安全と安心は違う」と言われますが、この混乱はそれを如実に示しているともいえます。

これは医療、介護の現場にも当てはまります。安心して医療、介護サービスを受けていただくためには、私たち医療者と患者さん、ご利用者の間に信頼関係を築くことが大切です。そのために、患者さん、ご利用者が何を望んでおられるのか、どうされたいのか、職員にはそれを汲み取る力をつけて欲しいと考えており、日頃からそのような職員教育に取り組んでいます。心が通ったケアに全力を尽くして地域の皆さんの安心に少しでも貢献できればと願っています。

ところで私は、お魚から貝や海藻に至るまで海産物は大好物です。福島を含め日本近海で漁師さんが捕ってくれた魚介類をこれからも美味しくいただきたいと思っています。

それからもうひとつ、病院や施設の食事に以前好評だったお刺身の盛り合わせや握り寿司を復活させたいと考えています。

どうぞお楽しみに。

頌徳会グループ

新型コロナウイルス感染症に対する頌徳会グループの対応について

頌徳会グループ各施設での対応を下記の通り変更しましたのでご案内します。なお、感染状況の動向に伴い変更が生じた場合は、ホームページ・案内文書で都度広報させていただきます。

施設内でのマスク着用

・高齢者等重症化リスクの高い方が多くおられますので、引き続きマスク着用にご協力をお願いします。

ご面会

・対面面会を再開しています。

面会時間：15分以内(14:00～17:00間)

面会人数：◎日野病院・・・1日2名まで(中学生以上の方)

◎その他施設・・・ご家族2名まで(中学生以上の方)

※‘タブレット面会’については、各施設で対応が異なります。事前にお問合せください。

外出

・外出を再開しています(日野病院のみ)

※集団での接触が想定される外出は除きます。

院外活動

・退院時居宅訪問・入院時訪問・屋外リハビリテーション再開
※日野病院 屋外リハビリテーション…公共交通機関利用練習、買い物練習等

ボランティア活動等

・頌徳会グループ独自のカルチャークラブ『SUNSUNクラブ』・ボランティア団体によるイベントを順次再開しています。

SUNSUNクラブ活動内容：陶芸クラブ、うたのレッスン、バレエ・ストレッチ、クリニカルアート

※活動の詳細はソルヴィラージュ・ソルメゾンにお問い合わせください。

発熱外来

・診察受付時間内で対応しています。感染対策のためご来院の際は事前に電話連絡をお願いします。

頌徳会グループ
理念

生命の花を咲かせます

生きる力を支えます

力を活かして支えます